

オーディオ・インターフェイスを超えたFirefaceのフラグシップモデル



## Fireface UFX

30入出力 192kHz USB & FireWire オーディオ・インターフェイス

30 入力 / 30 出力 チャンネル

アナログ入出力 x 12 系統

マイク / 楽器入力用プリアンプ x 4 系統 (並列搭載プリアンプ採用)

AES/EBU x 1 系統

ADAT 入出力 x 2 系統 (もしくは ADAT 入出力 x 1 系統 + SPDIF 入出力 x 1 系統)

MIDI 入出力 x 2 系統

Word Clock 入出力 x 1 系統

FireWire & USB オペレーション

インターナル・エフェクト機能を搭載した TotalMix FX

統合されたモニタリング・コントロール

FireWire & USB Technology . Made by RME





Fireface UFX は、RME のオーディオ・インターフェイスの新しいフラグシップ・モデルです。

30 入出力のオーディオ・チャンネルと高性能デジタル制御プリアンプ、高精度な AD/DA コンバーター、そのすべてが 192kHz での動作をサポートしています。

RME が長年開発とアップデートを続けてきたドライバーにより、USB/FireWire 双方の接続において極めて低いレイテンシーを実現します。リアルタイムのジッター抑制、業務仕様の入力レベルのサポート、高度なスタンドアロン機能、RME 独自の DIGICheck によるメーター / アナライザー表示。これらの機能を、Mac/Windows の両プラットフォームで利用できます。

また、最大 192kHz で動作する新しいデジタル高性能ミキサー / ルーターである TotalMix FX は、高速処理の 2 基の DSP によって EQ とダイナミクス、リバース / エコー、モニター・コントロール機能を提供します。

これらの機能は、本体からも操作を行えるようになっています。30 入出力チャンネル + エフェクト・パスのメーター表示や主要な機能のコントロールに対応するカラーディスプレイが搭載されており、Fireface UFX のフロント・パネルから直接制御することを可能としています。

## サウンド・クオリティ

音質、およびコスト・パフォーマンスにおいて RME は他社の追随を許すことなく、もちろん Fireface UFX においても例外ではありません。他の RME 製品と同様に最高グレードの AD/DA コンバーターと高品質なアナログ回路設計を採用し、すべての TRS、XLR 入出力、そしてヘッドフォン出力において極めて低ノイズ・高音質を保証します。RME が伝統として掲げる哲学においては、AD/DA コンバーターやプリアンプが独自の「サウンド」を付加するべきではなく、一切の色付けを伴わない本来のオーディオ信号を、ありのまま伝えることを製品に課しています。

最新の AD/DA コンバーターを搭載することによってすべての入出力は最大 192kHz で動作し、再生時にはヘッドフォン出力も含めて 118dB のダイナミックレンジを実現します。また、ヘッドフォン出力端子は高出力に対応しており、接続するヘッドフォンのインピーダンスを心配する必要がありません。アナログのバランス入力部は RME の業務用ラインナップ製品である ADI-8 QS の設計がベースとなっており、同様に DA 回路は RME の M シリーズの設計を継承しています。これらの回路デザインが、幅広い帯域において非常に優れた S/N 比や周波数特性を生み出しています。



DA にはハイエンドな PCM4104 を採用

加えて、RME 製品の特徴でもあるジッター抑制技術 SteadyClock の機能により、内部 / 外部クロックを問わず高精度な AD/DA 変換を実現します。

すべての入出力チャンネルには、ラージ・サイズのデジタル・コンソールに匹敵する豪華な機能が搭載されています。各チャンネルには 3 Band の EQ と可変ローカット、オートレベル機能、コンプレッサー、エキスパンダー、MS 変換、位相反転スイッチが用意されており、全チャンネルで SEND / リターン・パスを介してリバースとエコーを利用できます。しかも、Fireface UFX は 192kHz 動作時でもこれらの機能を提供します — これは、現存する各社のデジタル・コンソールを遥かに凌ぐ性能です。

## USB & FireWire

Fireface UFX では、1 台のインターフェイスに RME が開発した USB と FireWire の技術が融合されており、Windows と Mac 双方の環境下で最高のパフォーマンスを得られるように最適化されています。これは RME が唯一、サードパーティ製の USB および FireWire オーディオ・テクノロジーを利用することなく、傑出したパフォーマンスと妥協のないプロ・クオリティを実現する Hammerfall Audio Core を自社開発しているメーカーだからです。

Fireface UFX には各 OS のためにカスタマイズされた個別のファームウェアが提供され、マルチ・チャンネルでの動作時においても革命的なまでの低レイテンシーを実現します。

## 製品仕様

### 30 入出力チャンネル

アナログ入出力 x 12 系統

マイク / 楽器入力用プリアンプ x 4 系統  
(8つの AD コンバーターによる同時並列 AD 変換)

AES/EBU x 1 系統

ADAT 入出力 x 2 系統 (もしくは ADAT 入出力 x 1 系統 + SPDIF 入出力 x 1 系統)

MIDI 入出力 x 2 系統

Word Clock 入出力 x 1 系統

FireWire & USB オペレーション

## アナログ入出力

12 チャンネルのアナログ入出力

リア・パネル:

バランス TRS 入力 x 1ch - 8ch

バランス XLR メイン出力 x 1ch - 2ch

バランス TRS 出力 x 3ch - 8ch

フロント・パネル:

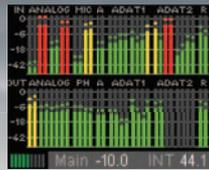
バランス XLR/TRS コンボ入力 x 9ch - 12ch

ステレオ TRS ヘッドフォン出力 x 9/10ch - 11/12ch

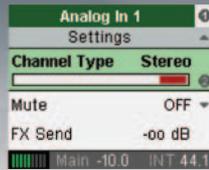
すべての入出力は Fireface UFX 本体、もしくは TotalMix FX からの制御で入出力感度を一般的に使用される 3 段階: -10dBV、+4dBu、HiGain (フルスケール時 +2dBV、+13dBu、+19dBu) の中から切り替えて使用できます。メインのバランス XLR 出力は最大 +24dBu までに対応します。



汎用チップを圧倒する新世代 FPGA を採用



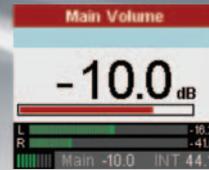
レベル・メーター画面



チャンネル・コントロール画面



TotalMix UFX画面



ボリューム画面

## 並列搭載の高性能プリアンプ

Fireface UFXは、新たに設計された4基のステレオ・コンバーターの並行搭載による、極めて鮮明な解像度の4系統のプリアンプを装備しています。

マイクとインストゥルメントのプリアンプは、レコーディングからクラシックのコンサートに到るまでの高度な性能と透明性が求められる現場で高い評価を得るRMEのハイエンド・プリアンプ、Micstasyの基本設計を引き継いでいます。プリアンプ回路の完全な対称設計に伴い、飛躍的な低ノイズとS/N比、リニアな周波数特性を実現。業務用レベルの信号はもちろん、民生用レベルやハイ・インピーダンスの楽器、ダイナミック/コンデンサーマイク、あるいはリボンマイクであっても、一切の色付けなしで音を増幅・伝達する最高級のソリューションです。

各チャンネルのプリアンプは1dBステップ単位で設定可能な最大+65dBまでのゲインを個別に設定することができ、Fireface UFXのフロントパネルのディスプレイから制御することが可能です。すべてのゲイン/レベル設定は保存・呼び出しにも対応し、コンピュータ上のTotalMix FXやMIDIリモート・コントローラーからコントロールをすることもできます。

フロントパネルにある、Hi-Z入力にも対応した4つのバランスXLR/TRS Phoneコネクタには、例えば同時に4本のギターを入力することも可能です。レベル・マッチングのための機器を別途用意する必要はありません。

個々のチャンネルの+48Vファンタム電源供給やHi-Z切替はそれぞれが独立して動作します。入力信号の有無/クリップとバランス接続の可否、ファンタム電源の状態はフロントパネルのLEDで明確に視認できます。

**並列搭載プリアンプ:** Fireface UFXのプリアンプは4系統ですが、その内部には8つのADコンバーターが控えています。すべてのマイク・プリアンプで二重化された2基のADコンバーターによる同時並列AD変換が行われ、従来型のコンバーター設計では不可能な驚異的なS/N比と性能を実現しています。



ADには高精度なコンバートを実現するCS5368を採用

## モニター・コントローラー

Fireface UFXはトークバック機能等も搭載しているため、コンピューター環境でのレベル・コントローラーとしての機能だけではなく、小規模なレコーディング・スタジオ向けのモニター切替や入力ソース・セレクターとしても活躍します。外部のモニター・コントローラーを使わずにスタジオ・モニターを直接Fireface UFXへ接続することで、より色付けのない本来のサウンドでモニターを行えます。

本体のゲイン/ボリューム設定はTotalMix FXのコントロール・ルーム・セクションと連動しています。すべての出力の中から3つまでをモニター出力に割り当て、本体のノブで直接コントロールすることができます。例えば、AES/EBU出力をメインアウトやヘッドフォン1/2へ割り当てるといった形です。トークバックやリッスンバック、モノ、Dimといった機能は割り当てられた出力で正しく機能します。

## ディスプレイ

数多くの機能により簡単にアクセスできるように、Fireface UFXのフロントパネルには高解像度のカラーディスプレイが搭載されています。大小3つのロータリー・エンコーダーを使うことで、Fireface UFXの主要なパラメーターを本体で直接コントロールできると同時に、Mac/Windows上のTotalMixともリアルタイムで連動します。

## デジタル入出力

### AES/EBU

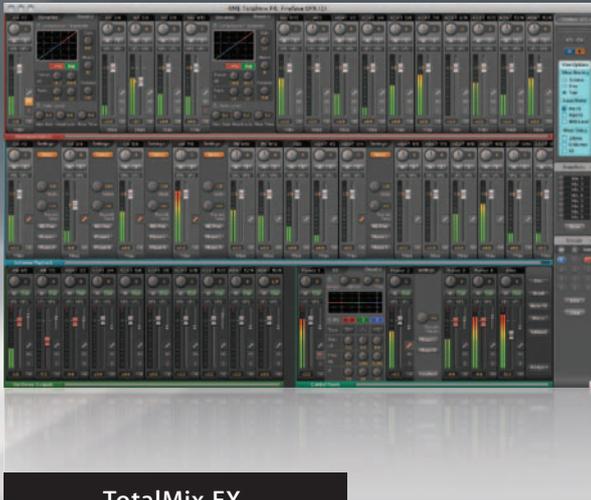
Fireface UFXは192kHzをサポートする業務用規格のAES/EBU入出力を装備しています。

### ADAT

2系統のADATフォーマットの入出力により、16チャンネルのアナログ入力を追加するといった拡張が可能です。もちろん8チャンネルのAD/DAコンバーターやデジタルミキサー、インサート用のエフェクター等も接続できます。このADAT入出力は192kHz(S/MUX4)をサポートしています。例えば2台のADI-8 QSと組み合わせることで、48kHzまでの動作時に28チャンネルのアナログ入出力、96kHzで20チャンネル、192kHzで16チャンネルを確保することが可能となっています。

### SPDIF

ADAT 2 入出力端子ではSPDIFフォーマットにも対応。さまざまな機器を接続することができます。



## TotalMix FX

DSP ベースの TotalMix ミキサーは、入力の 30 チャンネルと再生 30 チャンネルを全 30 の出力チャンネルへ個別にルーティングすることができます。最大で 15 系統のステレオ・サブミックスとコントロールルーム・セクションにより、非常にフレキシブルなモニタリングとシステム構築を可能としています。

加えて、新しい世代となる TotalMix FX は、これまでの TotalMix の強力なハードウェア・ミキシング / ルーティング機能をそのまま受け継ぎながらも、数多くの新機能と向上した操作性を提供します。DSP ミキサーはハイエンドのデジタル・コンソールの特徴を備えるだけでなく、全ての入出力チャンネルへ以下の効果を加えることができます：

- 3 バンド・パラメトリック・EQ とローカット (最大 24 dB/Oct)
- ダイナミクス: コンプレッサー / エクスパンダー
- オートレベル TotalMix FX
- 全チャンネルでセンド / リターン・バスを介してリバーブとエコーを利用可能
- 全てのエフェクトは 192kHz で動作

Fireface UFX のエフェクト・セクションは、レコーディング時におけるフレキシブルな設定を実現するだけでなく、コンピュータ上のソフトウェアで発生するレイテンシーを回避する用途でも威力を発揮します。例えばスタジオのスピーカーとボーカリストのヘッドフォンへのモニターで異なる EQ、リバーブをかけたミックスを使い分けたいような場合でも、TotalMix は外部のミキサーを用いずに複数のサブミックスを作ることができます。

## ドライバー

- Microsoft Windows XP SP2 / Vista / 7 (32 & 64 Bit)
- Apple Mac OS X 10.5 以上

### サイズ / 質量

- サイズ(ラック耳含) : 483mm(幅) x 44mm(高) x 242mm(奥)
- サイズ(ラック耳無) : 436mm(幅) x 44mm(高) x 235mm(奥)
- 質量 : 3000g

### システム必要条件

- Microsoft Windows XP SP2 以上
- Apple MacOS X 10.5 以上
- FireWire400 または USB2.0 搭載のコンピューター
- USB を使用される場合 Intel Core 2 Duo 以上の CPU を搭載したコンピューターが必要

JAN コード : 4582187 344123



## Q & A

**Fireface UFX は Fireface 800 の後継機種ですか？**

Fireface UFX は Fireface シリーズの最上位機種となりますが、Fireface 800 の後継機種ではないため、Fireface 800 もまた現行の製品です。

**Fireface UFX はスタンドアロンで使用することができますか？**

はい。Fireface UFX は、PC または Mac にも接続せず、使用することができます。すべての主な機能は、ディスプレイとエンコーダー・ボタンを使用してコントロールすることができます。

**Fireface UFX は USB と FireWire のポートを同時に使用することができますか？**

いいえ。USB と FireWire のポートのどちらか一方しか同時に使用することはできません。

※ USB と FireWire のポートの両方に接続されている場合には USB 接続の方が優先して認識されます。

**USB と FireWire のどちらを使用した方がパフォーマンスは良いですか？**

使用するシステムによって変わります。

※ 詳しくは Web をご覧ください。

**Fireface UFX は FireWire 800 端子で使用することができますか？**

はい。ただし、別途 FireWire 800 ⇔ FireWire 400 ケーブルが必要となります。

**Fireface UFX は USB 3.0 端子で使用することができますか？**

はい。Fireface UFX は、RME の FPGA テクノロジーにより USB 3.0 チップセットとの互換性を有しています。ただし、転送速度は USB 2.0 の速度で動作いたします。

**Fireface UFX はバスパワーで使用することができますか？**

いいえ、FireWire/USB とともに必要な量の電力を供給することができないため、電源ケーブルが必要となります。

**なぜフロント部に USB 端子があるのですか？**

将来ファームウェアのアップデートで USB メモリースティックや USB ハードディスクを使用することで、マルチチャンネルでの録音 / 再生が可能となる機能を実装する予定があり、そのためにこの USB 端子が搭載されています。このモードはスタンドアロン・モード時でも使用が可能です。 ※ 詳しくは Web をご覧ください。

Engineered and Made in Germany

このカタログの内容は 2011 年 2 月現在のものです。仕様は予告なく変更される場合があります。記載の製品名 / 社名 / ロゴ等は各社の商標または登録商標です。

**synthax**  
Japan

**RME**

www.synthax.jp